

ボードゲーム好きにおくるチョイ読みペーパー

メビテン!

2020.05
vol.08

TAKE FREE

mebiten.com

ジャパントールフェスティバル レポート

メビウスママ
カンヌ国際ゲーム祭へ行く!

教えて!メビテンさま

テンディーズのテンデイズ店番日誌

あだちのコラムだYEAH!!!



ジャパントゥールフェス ティブル レポート



みなさん、フランスでは日本文化の人気の高いことはご存じのはず。

いくつも日本文化を紹介するイベントが開催されているのですが、今回、そのうちのひとつ、ジャパントゥールフェスティバルに参加してきましたので、その模様をお伝えしたいと思います。



「ジャパントゥールフェスティバル」は、フランスはロワール地方に位置する都市トゥールで毎年開催され、今年は、2月28日、29日、3月1日の三日間にわたって開催されました。

トゥールは、日本ではあまり馴染みがないかもしれませんが、ロワール地方に点在する古城巡りの拠点にぴったりの大変美しい歴史ある街なのです。



「ジャパントゥールフェスティバル」、日本文化を気軽に楽しめるイベントになっており、海外でも大人気のマンガやアニメはもちろんのこと、書道体験、落語や日本にまつわるクイズ大会、日本のバンドによるライブといったステージイベント、日本のお菓子やカップラーメンが山積みされた販売ブース、今や国民食ともいえる日本のカレーやおにぎりが楽しめるフードコートなど、とにかく盛り沢山！

コスプレの方も多数！の来場者が思い思いの形で楽しめるようになっています。

そんな中、テンデイズゲームズは、「日本発のボードゲームやカードゲームを紹介してほしい」と主催者からの依頼を受け、メビウスママさん、Engamesの杉木さんにお手伝いをいただきながら、デモスペースを構え、三日間、フルパワーで参加してきました。

日本文化に興味を持つ方が多いとは言え、ボードゲームやカードゲームにまで興味を持つ方はそれほど多くないのが実際のところ。

加えて、フランス語しか喋れないという方も多く、最初は私たちもちょっと尻込み。

しかし、そこは楽しい空気溢れるイベント会場。その雰囲気に押される形で、徐々にブースも賑やかになっていきます。

最初はうろたえることも多かったルール説明も、身振り手振りや翻訳機「ポケトーク」の力も借りつつ、当たって砕けろという気持ちでこなせるように。メビウスママさんも、お手製のフランス語ルール説明アンチョコを取り出し、どんだんルール説明を行っています。どんな状況でもさすがです！

現地のゲームファンであり、今回、お手伝いいただいたサポートスタッフのムッシュ・ローランの親しみやすいキャラクターにも大いに助けられました。

見た目の美しさがインパクト大のittenゲーム各種、ほのぼのとしたアートワークと協力というシステムで家族連れに人気だった「どんぐりやま」、漢



字に惹かれる方も多かった「ごいた」、いかにも日本といったテイストが注目を集めた「天下鳴動」、遊び始めた人が思わず真剣になっていくのが印象的だった「ノコスダイス」など、いずれも大好評。

というわけで、三日間終わってみれば大成功！

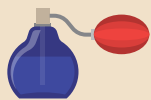
販売用に持って行ったゲームも（もともとそれほど数は多くなかったとはいえ）ほぼ完売です。

ずっと忙しくて、ほかのブースを見て回るという余裕も全然ありませんでしたが、それだけ私たちのブースが賑わっていたということ。

今回のジャパントゥールフェスティバルを通じて、日本のボードゲーム、カードゲームにも興味を持ってくれた人が少しでも増えたのであれば嬉しいですね。

Japan Tours Festival

- 開催時期
2020年2月28日～3月1日
- 開催場所
Parc Expo de Tours
- 公式のHP
japantoursfestival.com





メビウスママ

フランス南部の地中海に面するコート・ダジュール(Côte d'Azur)= 紺碧海岸と呼ばれるヨーロッパに人気の海岸リゾート地にカンヌという町があります。カンヌ国際映画祭が開催されることでも有名です。そんな場所でカンヌ国際ゲーム祭は1988年から毎年2月に開催されています。青空と紺碧の地中海、そんなキラキラした保養地でボードゲームの大きなイベントが毎年開催されているなんて! そんなカンヌ国際ゲーム祭に行ってきました。

カンヌ国際映画祭が開催される場所でカンヌ国際ゲーム祭も開催されます。まさに映画祭の表彰式が行われるホールで前日祭が行われ、アズドール・フランス年間ゲーム大賞が発表されます。2020年大賞に選ばれたのはオリフラム(Oliflamme)、キッズ賞はドリームキャッチャー(Attrape Reves)、エキスパート賞はレス・アルカナ(Res Arcana)と発表されました。

カンヌ国際映画祭と同じ会場ということもあり、レッドカーペットの階段でのポーズは当たり前! そして何よりファミリーが1日楽しめる場所でした。



As d'Or Jeu de l'année 2020

開催日:2020年2月21日~23日

開催3日間の来場者:11万人、ゲームデザイナーとイラストレーターの参加者数:400人

商談来場者:5千人、出展ブース:310(出展従事者:約8千人) プレス:313団体

入場料:一般無料、

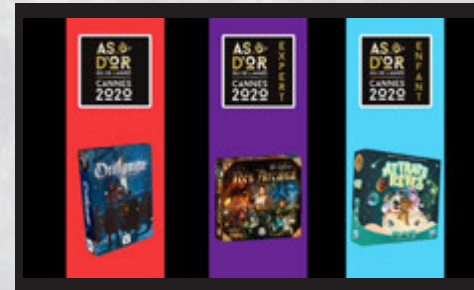
:3days VIP PASS 30€ 12歳以下の子ども 15€ 3歳以下は無料

:1day VIP PASS 14€ 12歳以下の子ども 8€ 3歳以下は無料

会場:Palais des Festivals et des Congrès(パレ・デ・フェスティバル・エ・デ・コングレ)

2021年は2月26日~28日に開催予定。

カンヌ国際ゲーム祭 へ行く!



前日祭で発表されたアズドール・フランス年間ゲーム大賞



入場行列は当たり前。苦じゃないよ~



おやじ留守番中のAventure♡



会場内はベビーカー禁止 ベビーカー預かり所にズラリ



ファミリーで楽しいね~



キャラクターと仲良くバシャリ

きまってるね!



大型ゲームで盛り上がる



日本人デザイナーも活躍

教えて! メビテンさま

フランスの出版社やゲームについて教えて!



いやあ、メビウスママたちと行った
カンヌ国際ゲーム祭、楽しかったのう。



ドイツのシュピールは有名だけど、
カンヌ国際ゲーム祭もすごい賑わいなんだね!

フランスの出版社やゲームの人気は、いまや世界的じゃしう。

そうなんだ! 例えばどんなものがあるの?

ドイツ年間ゲーム大賞を受賞した「ディクシット」、「キングドミノ」はみんなも
遊んだことあるはずじゃ。これらは出版社もデザイナーもフランスなんじゃ。

ドイツのゲームじゃないんだね!
でも、たしかに「ディクシット」の綺麗な幻想的なイラストは、
フランスっぽいかも。(笑)

何度も来日して、日本人にも馴染みのある
「世界の七不思議」のアントワン・ボザもフランス人じゃの。

昔から、フランスのゲームは人気があったの?

フェデュッティやカタラといった有名なデザイナーはおったし、いくつかの出版社
があったんじゃが、2000年代のはじめ頃は、日本でも知られていたのは木製
ゲームで有名なギガミックや、オイロゲームズくらいじゃったし、フランスのシーン
自体もそれほど注目されてなかったのう。

じゃ、人気になったのはいつくらいなの?

2005年くらいから勢いが出てきた感じかのう。例えば、本格的な戦略ゲームで
ファンに人気となったメーカーのイスタリが出版を始めたのも2004年じゃ。

それが、今じゃ世界を席巻! すごーい!

もともとはフランスのゲームメーカーだったアスモデー出版も、
今や、たくさんのゲームメーカーを傘下に収め、世界最大と言っ
てもいい規模を誇っておるしう。「キングドミノ」のブルーオ
レンジも、子ども向け、ファミリー向けに精力的にゲームを出版
してある。まだまだこの勢いは続きそうじゃ。

ねえねえ、
ところで
メビテンさまー。

ん?
なんじゃ?

フランスの
お土産は?

・・・うおっほん、
さて、新しいゲームの
ルールでも読むかのう。

Möbius メビウスゲームズ おすすめゲーム

テーマ: Bonjour de France. (フランスからこんにちは)
Bonjour 今回はフランスを感じていただけるゲームを紹介したいと思います。

デジャブ

👤 2-6人 🕒 15分 🧑 8歳〜 💰 2,800円(税込)

デザイナー: Heinz Meister メーカー: AMIGO

既視感、「以前にも一度これと同じものを見たような気がする」それをフランス語でデジャブ(déjà-vu)そんな摩訶不思議な体験をこのゲームで味わってみてください。記憶と消去、あなたはどちらの能力がたけているでしょうね。



ノートルダム17

👤 2-5人 🕒 45-75分 🧑 10歳〜 💰 5,800円(税込)

デザイナー: Stefan Feld メーカー: Alea

2007年に初版が発売され、2017年に10周年を迎えノートルダム17としてルールも追加され深みを増した作品です。パリのノートルダム大聖堂は2019年4月に大規模火災が発生し尖塔が崩落し建造物の大部分が焼失しました。850年以上パリ市民と、ともに歴史を刻んだノートルダム大聖堂の修復が待たれるところです。



カルカソンヌJ

👤 2-5人 🕒 35分 🧑 7歳〜 💰 3,800円(税込)

デザイナー: Klaus-Jürgen Wrede メーカー: Hans im Glück

フランスの世界遺産「歴史的城塞都市カルカソンヌ」をモチーフに地形タイルを繋ぎながら進めるゲームです。2020年秋に開催予定の世界大会は新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止となりました。しかしこんな時だからこそ自粛や創意工夫が必要です。自宅で一人で遊べる「カルカソンヌソロバージョン」という遊び方の提案をHans im Glück社がしています。

カルカソンヌ
ソロバージョン



テンディーズゲームズ おすすめゲーム

レス・アルカナ

👤 2-4人 🕒 30-60分 🧑 12歳〜 💰 5,500円(税込)

デザイナー: Thomas Lehmann

メーカー: テンディーズゲームズ / Sand Castle Games

今回、紹介しているカンヌ国際ゲーム祭に合わせて発表されたアズドール・フランス年間ゲーム大賞のエキスパート部門大賞に輝いた作品です。

魔法使いとなって、さまざまなカードの効果を組み合わせ、誰よりも早く10点獲得を目指します。

自分のデッキにある8枚のカード、一見使いにくそうな効果でも、ほかの効果と組み合わせると想像を超えた相乗効果を生むことがあり、それが決まった時の快感はたまりません!

今、もっとも注目すべきタイトルのうちの一作でしょう。



多重塔

👤 2-4人 🕒 40-60分 🧑 10歳〜

💰 5,720円(税込)

デザイナー: Reiner Knizia

メーカー: SuperMeeple

名作ゲームの豪華な復刻版で人気のフランスのゲーム出版社、スーパーミーブルの最新作は、あのライナー・クニツィアと組んだ完全新作!

しかも、テーマは日本!

聖徳太子の命を受け、仏塔を建設して「瞑想点」を得て、それをうまく活用して得点を積み重ねていきます。肝となる仏塔の建設には、「袋から塔のパーツを引く」という驚きのシステムを採用。手触りが重要となるものの、それだけではなく、しっかりと確率計算や瞑想点の使い方が重要となるのは、クニツィアの巧みなゲームデザインの表れでしょう。



テンディーズのテンディーズ店番日誌

テンディーズゲームズの店舗に住み着く双子のテントウムシ、テンディーズがテンディーズゲームズの日常をお伝えします。

4月0日

コロナウィルスの影響で、テンディーズゲームズも営業は自粛中。お店への出勤も最小限にしています。

今日は、そんな少ない出勤日のうちの一日。お店で私たちはせっせと作業中。お客様、いろんなお店はもちろん、そのほかに児童養護施設に送るための荷物を作っています。

3月に東京都から外出の自粛要請が出て、なかなか外へ遊びに行くのも難しい状況です。特に学校が休校になった子どもたちは寂しい思いをしているはず。

そんな子どもたちを少しでも楽しめたいと、テンディーズゲームズのみんなで考えて、児童養護施設の子どもたちにゲームを贈ることを決めたのです。

近郊の施設を中心に、店長がそれぞれの施設に電話して、相談をした上で贈るゲームのみんなで決めます。

児童養護施設と一口に言っても、子どもが何人くらいいるのか、年齢はどんな内訳なのか、それぞれの施設の状況はさまざま。施設によっては、本施設だけじゃなくて、地域に少人数で生活をするグループホームがあるみたい。そんなお話を聞いた上で、それぞれの施設に合う形でゲームの種類や数を決めるのです。

出来るだけ喜んでもらいたい！出来るだけ楽しんで遊んでもらいたい！ですもんね。ひとつひとつ、心を込めて商品を贈っているのです。



4月×日

今日は嬉しいことがありましたー！😊

ゲームを贈ったいくつかの養護施設からお礼のお便りが届いたのです。どの施設の子どもたちも、学校も休み、外で遊ぶこともままならない、そんな中、届いたゲームに大喜びだって！

そんな風に言ってもらえたら、私たちだって大喜び！

今の大変な状況からみたら、私たちのやったことはほんのちょっぴりのことかもしれないけど、でも、誰かの力になれたみたいで、とっても幸せな気持ちになりました。ちょっとずつでも続けていきたいな。

あだちのコラムだYEAH!!!

アナログゲームマスターのあだち先生です。
アナログゲーム大国といえばドイツですが、実はフランスにも素晴らしいアナログゲームがあるんですよ!!!

私が、これぞフランスゲーム！とオススメしたいゲーム。

その名も『ディクシット』です。

84枚カードが入っているのですが、

なんと衝撃の、84枚全部絵が違う!!!

どれもこれも意味ありげな、絵本のような素晴らしい絵ばかり。

さすがフランス！アート!!!

拡張版もたくさん発売されていて、もちろん全部絵が違います。

私はこの『ディクシット』を遊びまくってたおかげで『ディクシット』と『拡張版：ディクシットオデッセ』の各84枚、合計168枚のカードがごちゃ混ぜになってしまった際には、それぞれのカードをみて、それぞれのカード束84枚にいつも簡単に分けることができました。

これはもう、特技って言えます！

この素敵なフランス生まれの『ディクシット』を是非ともフランスで遊んでみたいものですね。それに付け加えて…あとは、エッフェル塔に登ったり、ルーヴル美術館行ったり、凱旋門くぐってみたり、クロワッサンをサクサクと食べてみたいーい。

イエーイ!!!



page10

あだち先生

(あだち ちひろ)

株式会社あだちのYEAH

代表取締役 /

アナログゲームマスター

1児の母。仕事のご依頼を受けるとド派手なピンクの衣装に身を包みアナログゲームマスター「あだち先生」に変身！

www.adachi-yeah.in



編集後記

今号のフランス特集はいかがでしたか。遠く離れた諸外国の方々にも日本のボードゲームを楽しんでいただけるのは嬉しいですね。「メビテン！」次号は秋の予定です。お楽しみに！「メビテン！」を置いていただけるお店を募集しています。

mebiten.com

✉ mebitengames@gmail.com

編集：メビウスゲームズ、テンディーズゲームズ、長塚美奈子

本書の無断転載・複写ご遠慮ください。

@mebitengames